

MonoSpin C18によるペプチド試料の脱塩



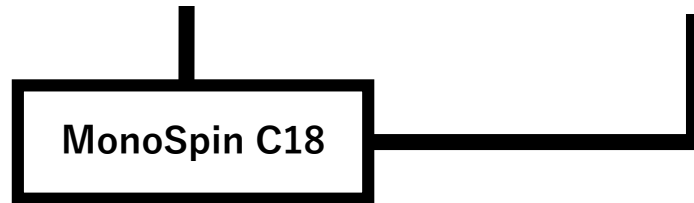
MonoSpin C18



遠心で使用

試料 800 μ L
(TFAを0.1%になるように添加)

コンディショニング



アセトニトリル 0.2 mL
0.1% TFA水 0.2 mL

洗浄

0.1% TFA水 0.2 mL

溶出

60% アセトニトリル 0.2 mL

乾固

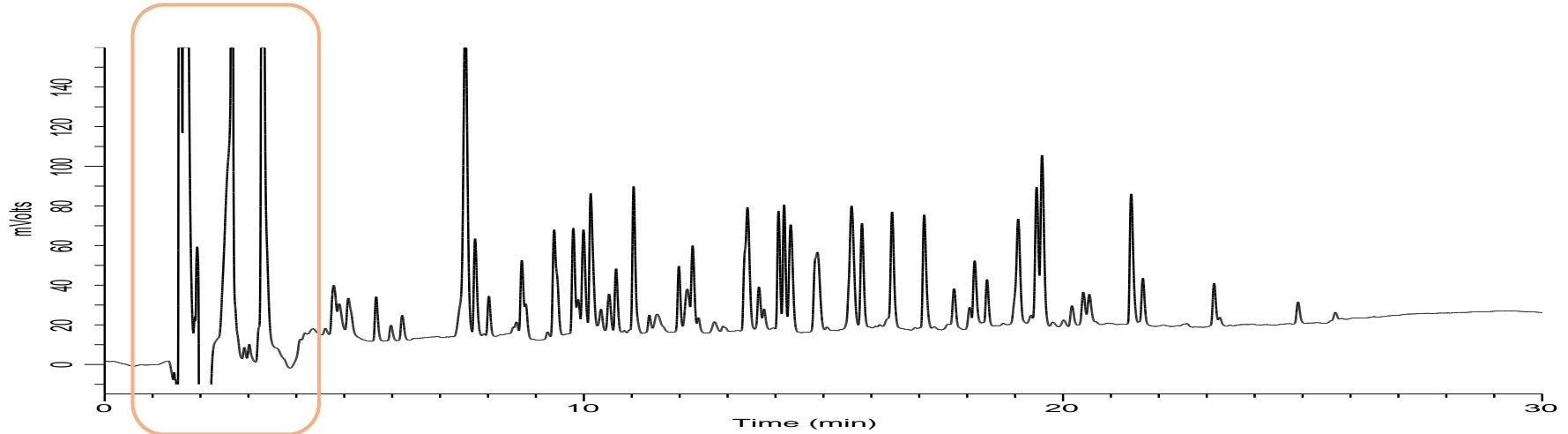
窒素吹付

定容

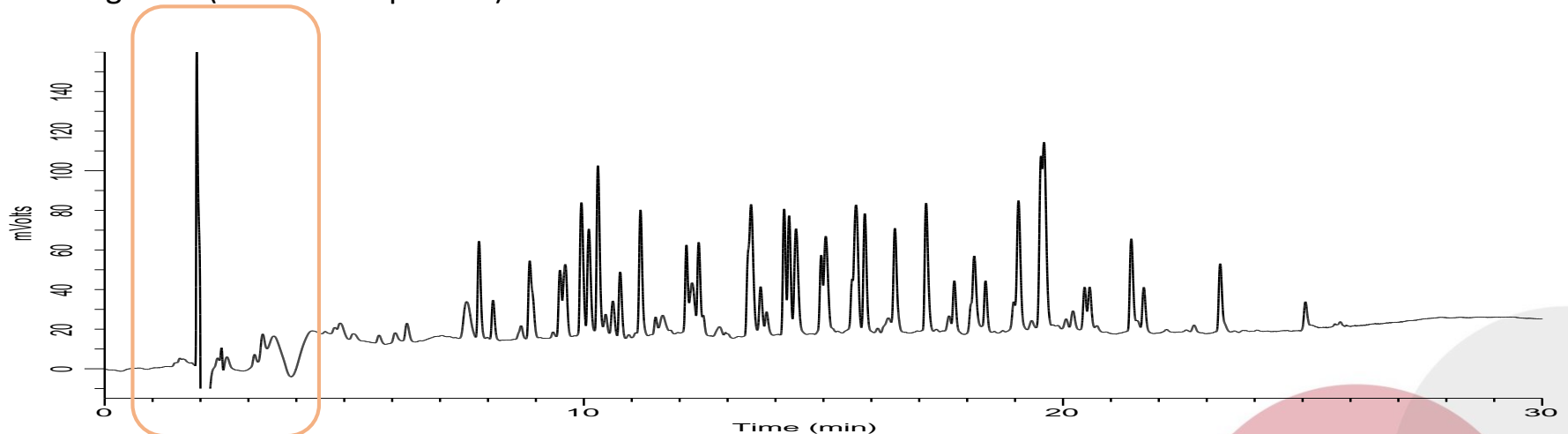
0.1%ギ酸で再溶解

MonoSpin C18によるペプチド試料の脱塩

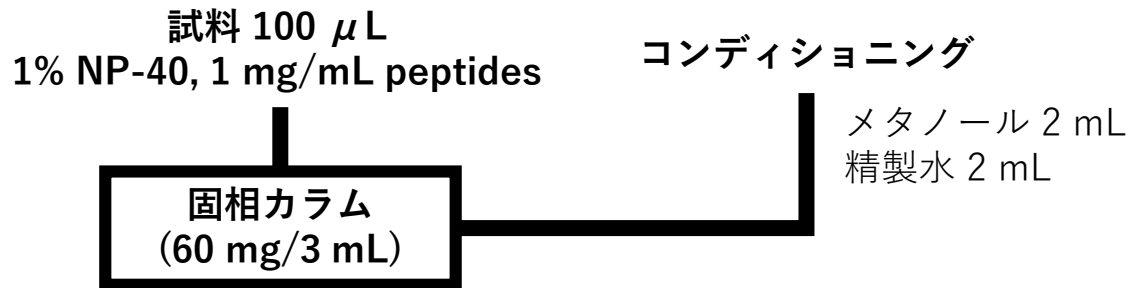
Protein digested (without pretreatment)



Protein digested (with MonoSpin C18)



固相カラムによるペプチド試料中の界面活性剤の除去



InertSep MCX FF



疎水性ポリマー
+
強カチオン交換カラム

洗浄

精製水 2 mL

界面活性剤除去

メタノール 2 mL
(この工程で非イオン性界面活性剤、陰イオン界面活性剤は除かれます。
ペプチドは強カチオン交換能で保持されます。)

溶出

5%アンモニア - メタノール 2 mL
(陽イオン交換に吸着したペプチドが溶出されます。)

乾固

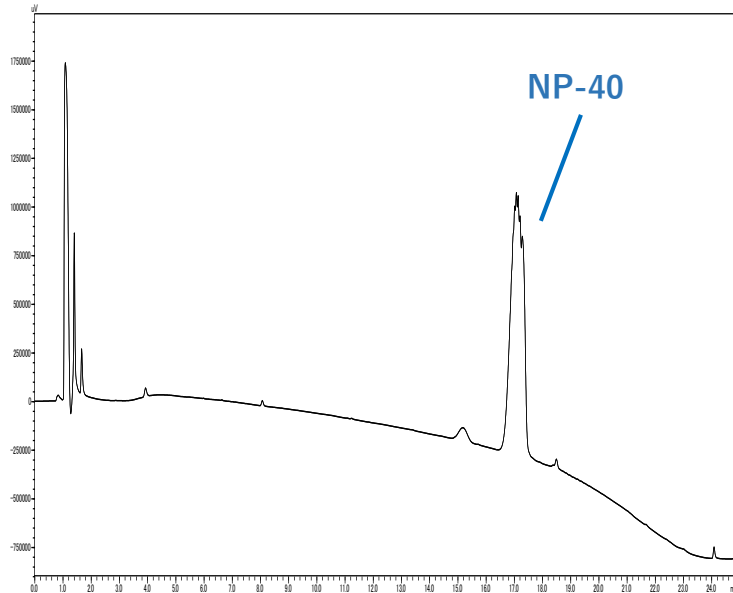
窒素吹付

定容

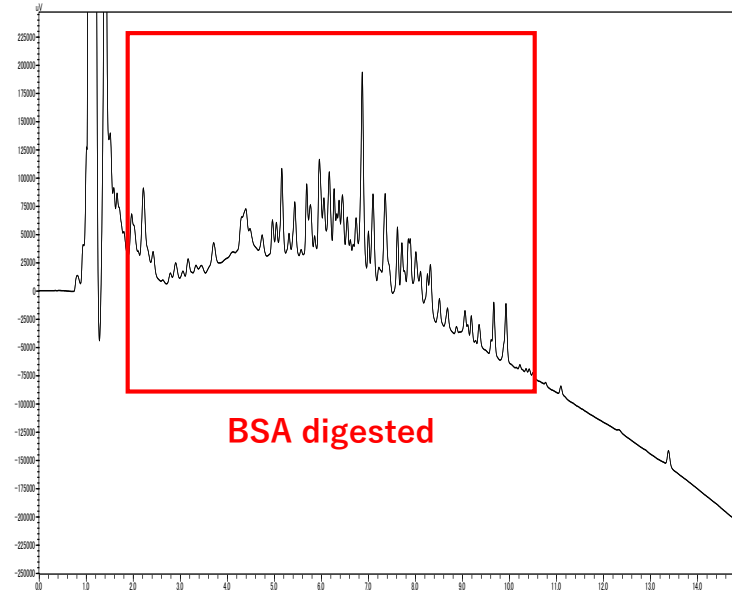
0.1%ギ酸で再溶解

固相カラムによるペプチド試料中の界面活性剤の除去

メタノール：界面活性剤除去



5%アンモニア-メタノール：ペプチド回収



高濃度な界面活性剤の除去に、イオン交換ポリマーカラムを用いることができます。効果的にペプチドを回収することが可能です。

※高分子量タンパク質が可溶化した状態に適応する場合には、界面活性剤を除去すると析出する場合があります。